

町長コラム

温故創新



森里海ひと みんなつながる南三陸

庄内町長 富樫透

3月11日、友好町である南三陸町へ行かせていただきました。穏やかな海、温かい日差し、青い空、11年前とはまるで違う天候でしたが、何年たってもあの日の衝撃、今日までの長い道のりは変わるものではありません。折しも、本町の幼稚園と小中学校では南三陸町の食材で作った学校給食が実施され、離れていても思いを共有できたと思います。

各種、インフラ整備が進む中でバイオガス施設である「南三陸BIO」を見学させていただきました。これは、生ごみとし尿汚泥を発酵させ、バイオガスと液肥を製造し年間60戸分の発電と700haの肥料散布を賄う施設です。町民の協力のもと栽培された農産物は給食にも利用されるとのことでした。

また、森では、持続可能な森林活用を図るFSC認証の取得や海では自然環境に負荷をかけるない養殖場への取り組みでASC認証を取得するなど、町民のみなさん一人ひとりが「自然との共生」を自分事として取り組んでいます。この他に、新南三陸人となったみなさんもワイナリーへの取り組みやわかめを飼料にした羊の肥育など今までになかった柔軟な発想で新事業にチャレンジしています。

キーワードは、循環であり環境負荷をかけるない持続可能なまちづくりです。町民のみなさんが一丸となって頑張っている姿を目の当たりにして、本町の地域資源の活用や課題解決に向けた大きなヒントをいただきました。そして、新たなスタートとして南三陸町とともに次のステップへ前進できるようにと誓った日となりました。